【資料4】

# 平群町
# 地域包括支援センター運営状況について

令和８年７月

# 目　　次

1. 地域包括支援センター事業推移 ・・・・・・・・・・・・・・・1

2. 令和７年度 地域包括支援センター事業報告及び進捗状況・・・2～8

3. 令和８年度 地域包括支援センター事業計画・・・・・・・・・9～12

4. 介護予防計画委託先事業所（追加）・・・・・・・・・・・・・13

## 地域包括支援センター事業推移(令和4年度～令和7年度実績) 令和8年3月現在

| 事業内容 | | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 総合相談支援 | 総合相談（電話・来所・訪問） | 2,596件 | 2,622件<br>（訪問 514件） | 3,018件<br>（訪問 652件） | 3,218件<br>（訪問 547件） |
| 権利擁護 | 高齢者虐待・成年後見等対応 | 延べ24人<br>（実数11人） | 延べ33人<br>（実数15人） | 延べ41人<br>（実数17人） | 延べ27人<br>（実数3人） |
| 包括的・継続的ケアマネジメント | 介護支援専門員へのサポート等 | 町内介護支援専門員勉強会　2回<br>4町介護支援専門員合同研修　4回 | 町内ケアマネ連絡会　4回<br>4町介護支援専門員合同研修会 4回 | 町内ケアマネ連絡会　3回<br>4町介護支援専門員合同研修会 4回 | 町内ケアマネ連絡会　3回<br>4町介護支援専門員合同研修会 4回 |
| 地域ケア会議 | 個別の地域ケア会議 | 12回（40件） | 12回（39件） | 12回（48件） | 12回（45件） |
| 介護予防支援 | 介護予防サービス・支援計画（要支援1・2で予防給付のサービス利用者のケアプラン） | 1,576件（総件数） | 1,615件（総件数） | 1,727件（総件数） | 1,782件（総件数） |
| | | 350件（包括） | 279件（包括） | 183件（包括） | 87件（包括） |
| | | 1,226件（委託） | 1,336件（委託） | 1,544件（委託） | 1,695件（委託） |
| | | 43件（新規） | 52件（新規） | 47件（新規） | 42件（新規） |
| 介護予防ケアマネジメント | 介護予防サービス・支援計画（要支援1・2で総合事業のサービスのみの利用者・事業対象者のケアプラン） | 1,682件（総件数） | 1,761件（総件数） | 1,810件（総件数） | 2,020件（総件数） |
| | | 387件（包括） | 347件（包括） | 190件（包括） | 63件（包括） |
| | | 1,295件（委託） | 1,414件（委託） | 1,620件（委託） | 1,957件（委託） |
| | | 63件（新規） | 37件（新規） | 74件（新規） | 68件（新規） |

## 介護予防サービス利用者数推移　令和4年度～令和7年度実績

| 介護予防サービス | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|---|---|---|---|---|
| | 1,177人（実人数総数） | 1,219人（実人数総数） | 1,296人（実人数総数） | 1,779人（実人数総数） |
| 介護予防訪問介護 | | | | |
| 介護予防訪問看護 | 299 | 291 | 341 | 375 |
| 介護予防訪問リハビリ | 168 | 147 | 160 | 58 |
| 介護予防通所介護 | | | | |
| 介護予防通所リハビリ | 68 | 68 | 69 | 127 |
| 介護予防短期入所生活介護 | 1 | 13 | 12 | 19 |
| 介護予防短期入所療養介護 | 0 | 5 | 1 | 0 |
| 介護予防福祉用具貸与 | 1,261 | 1,295 | 1,371 | 1,406 |

## 介護予防・生活支援サービス事業利用者推移　令和4年度～令和7年度実績

| 介護予防・生活支援サービス | 令4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|---|---|---|---|---|
| 訪問型サービス | 750 | 656 | 709 | 706 |
| 通所型サービス | 1,970 | 2,184 | 2,271 | 2,336 |

令和７年度地域包括支援センター事業報告及び進捗状況　　（令和８年３月31日現在）

| | |
|---|---|
| 重点目標 | 高齢者等が住み慣れた地域でその人らしい生活を継続することができるよう、地域包括ケアシステムの構築にあたり中核的な機関となるよう各事業に取り組んでいく。また、地域共生社会を見据え、だれもが誰かとつながる地域づくりを目標に、さまざまな関係者との連携強化に努める。 |

| 業務 | 事業内容 | 実績 | 課題・評価 |
|---|---|---|---|
| 総合相談支援業務 | 地域の高齢者等に関するさまざまな相談を受け止め、複雑かつ多様化する相談に対し、３職種（保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員）がチームとなって必要な方策の検討とそれに基づく速やかな初期対応を行い、適切な機関・制度・サービス等の社会資源につなぐ。また、継続的なフォローや必要に応じて地域包括支援センターの各業務につなげるなどの総合的な相談・支援を行う。 | 総件数　延べ3,218件<br>（実数2,103件）<br>介護相談　延べ2,123件<br>（実数1,375件）<br>認知症相談　延べ153件<br>（実数85件）<br>入退院相談　延べ27件<br>（実数15件）<br>施設入所相談　延べ18件<br>（実数14件）<br>その他の相談　延べ897件<br>（実数614件） | 複雑で多様化している相談に対し、情報提供や適切な機関・制度・サービスにつなぐなど、地域包括ケアにおける継続支援の入り口としての機能を果たすことができた。今後も相談窓口として早期発見・早期対応・予防的対応ができるよう、地域包括支援センターの周知・広報活動を継続する。 |
| 権利擁護業務 | 高齢者虐待の防止および対応、セルフ・ネグレクトの防止および対応、消費者被害の防止および対応、判断能力を欠く常況にある人への支援を行う。 | 高齢者虐待（疑い含む）<br>延べ９件<br>（実数１件）<br>権利擁護相談<br>延べ18件<br>（実数２件）<br>権利擁護講座（3/16）<br>「消費者被害について」<br>（講師：暮らしの安全・安心サポーター橿原「ざ・ひめみこ」）<br>19人 | 高齢者虐待の相談・通報に対しては、福祉課や警察等と連携し、情報収集や訪問調査により事実確認を行い、適宜ケース会議を開催するなど迅速に対応している。<br>今後も、在宅生活者・施設入所者を問わず、高齢者の権利侵害事例について、関係機関との連携のもと迅速に対応を行う。 |

| 業務 | 事業内容 | 実績 | 課題・評価 |
|---|---|---|---|
| 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 | 多様な生活課題を抱える高齢者等が地域でその人らしい自立した生活を継続するために、個々の高齢者等の課題や変化に応じたあらゆる社会資源を適切に活用し、包括的・継続的なケアマネジメントを介護支援専門員が実践することができるよう地域の環境を整備する。 | 生駒郡内介護支援専門員　合同研修会　4回　204人<br>(町内46人)<br>① 7/14「『食』について」<br>(講師：管理栄養士<br>村井香枝氏)<br>② 9/19「難病利用者の訪問看護について」<br>(講師：訪問看護るーく<br>谷村卓俊氏)<br>③ 11/26「データ連携システムについて」<br>(講師：奈良県国保連合会)<br>④ 1/21「多職種連携での薬剤師の視点について」<br>(講師：フジ薬局 冨士仁見氏) | 介護支援専門員の実践力向上支援として4町合同研修会を4回した。また、町内ケアマネ連絡会を3回開催し、身寄りなし問題や地域の社会資源、口腔ケアなどの知識を深め、実践に活かしてもらうことができた。今後も介護支援専門員が適切なケアマネジメントを行えるように支援する。 |
| | | 平群町ケアマネ連絡会<br>3回　48人<br>① 6/30「身寄りなし問題の現状とケアマネに求められる視点」<br>(講師：社会福祉士 松浦健二氏)<br>② 11/5・12「へぐりいきいき百歳体操体験会」<br>(講師：健康運動指導士<br>貴志信吾氏)<br>③ 3/12「ケアマネが知っておきたい口腔ケアの視点と連携のあり方」<br>(講師：歯科医　福田修二氏) | |

| 業務 | 事業内容 | 実績 | 課題・評価 |
|---|---|---|---|
| 在宅医療・介護連携推進事業 | 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、地域における医療・介護の関係機関が連携し、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を一体的に提供することができるよう、町が中心となって生駒地区医師会、生駒郡4町、西和医療センター、西和地域7町介護事業所等と緊密に連携しつつ、地域の関係機関の連携体制の構築を推進する。 | ○生駒地区医師会と生駒郡4町が協働で開催<br>・7/18 第1回生駒郡地域ケア会議<br>・2/16 第2回生駒郡地域ケア会議<br>・11/19 第1回4町多職種勉強会 76人<br>「医療と介護が支え合いつながり合う地域へ～西和メディケア・フォーラムのこれまでとこれから～」<br>（講師：西和医療センター 院長　土肥直文氏）<br>・3/11　第2回4町多職種勉強会 57人<br>「多職種連携で心不全パンデミックに立ち向かう」<br>（講師：天理よろづ相談所病院 院長 日村好宏氏）<br>・生駒郡地域ケア会議講演会<br>「人生会議」（住民向け講演会）<br>11/27 シリーズ①（三郷町）<br>12/23 シリーズ②（安堵町）<br>2/2　シリーズ③（平群町）<br>3/14　シリーズ④（斑鳩町）<br>○西和7町における在宅医療・地域包括ケアシステムの推進<br>・6/19 第18回西和メディケアフォーラム地域検討会合同会議 56人<br>・12/18 第19回西和メディケアフォーラム地域検討会合同会議 44人<br>・西和メディケア・フォーラムマネジメント部会　6回<br>○西和7町退院調整ルールづくり事業<br>・入退院ルールづくり事業会議 7回 | 在宅医療介護連携に関する課題の抽出や対応策について、定期的に生駒郡地域ケア会議を開催し協議している。多職種勉強会では、医療と介護の連携の重要性について研修会を実施し、参加者からも好評を得た。住民向け在宅医療講演会では、人生会議をテーマに4町でシリーズ化して実施した。<br>西和地域7町では口腔衛生摂食嚥下部会、在宅部会が新たに発足し活動している。ACP（人生会議）ワーキングはコアメンバーを選定し活動を始めている。また、多職種勉強会として重要な位置づけである地域事例検討会の発展充実に向け、次年度事例検討会を開催する予定である。 |

| 業務 | 事業内容 | 実績 | 課題・評価 |
|---|---|---|---|
| 認知症施策推進事業 | 認知症になっても住み慣れた地域で希望を持って日常生活を過ごせるよう、認知症の人や家族の視点を重視しながら、認知症について正しい理解を深める啓発活動や、早期相談・早期発見・早期診断、早期支援を行うため、医療や関係機関と連携・協働する。 | 認知症相談会　10回　12件<br>認知症オレンジカフェ心晴<br>12回　延べ参加者数183人<br>延べボランティア数95人<br>晴れ晴れ教室<br>前期:22回 延べ参加者数845人<br>後期:22回 延べ参加者数908人<br>認知症介護家族交流会<br>2回　参加者数6人<br>認知症講演会（地域づくりフォーラム・認知症予防事業映画上映会）<br>1回　250人<br>生活支援体制整備事業協議体と共同開催<br>（講師：やまと精神医療センター<br>精神保健福祉士　前田智氏）<br>（映画：僕と父の終わらない歌）<br>認知症サポーター養成講座<br>一般向け　5回　53人<br>キッズ　1回　12人 | ハートランドしぎさんの専門職による認知症相談会を月1回実施している。認知症の早期診断・早期対応に向けて、今後も広報・チラシ等で周知する。<br>認知症カフェでは、感染予防対策を行いながら、飲食や認知症予防のレクリエーションをし、畑活の活動を行った。カフェのボランティアを中心とした「チームオレンジ心晴」の活動も同時に行い、認知症の当時者やその家族のニーズに対応できるように取り組んだ。新規参加者が少しずつ増えているが、男性の参加者は少ない。ボランティアの高齢化や担い手不足が課題である。<br>認知症予防「晴れ晴れ教室」は、認知症予防の住民ニーズ、講師の人気も高く参加希望者が多かったため、場所をくまがしホールとふれあい交流センターでの開催とした。定員は合計75人から90人に増員した。<br>今年度は認知症講演会を地域づくりフォーラムとして、生活支援体制整備事業協議体と共同開催し、講演会と認知症啓発映画を上映した。多数の参加があり、好評を得た。次年度も生活支援体制整備事業協議体との共同開催を検討している。 |

| 業務 | 事業内容 | 実績 | 課題・評価 |
|---|---|---|---|
| 地域ケア会議推進事業 | 高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備とを同時に進め、地域包括ケアシステムを推進するために、多職種による個別ケースの支援内容の検討等を行い、個別課題の解決のみならず、課題の分析を積み重ねることにより地域課題を把握する。 | 地域ケア会議<br>自立支援型　12回　45事例<br>処遇困難事例　3回　2事例 | 自立支援型地域ケア会議では、理学療法士（作業療法士）、薬剤師、歯科衛生士、管理栄養士、コミュニティソーシャルワーカーの専門的なアドバイスにより、会議中にも解決策などが提案され、ケアプランに反映される効果があった。<br>また、個別事例検討の積み重ねにより地域課題の確認ができた。<br>困難事例の地域ケア会議は必要に応じて随時開催し、ケースによっては継続的に支援している。 |
| （第1号介護予防支援事業）<br>介護予防・ケアマネジメント | 事業対象者および、要支援１・２の認定者のうち介護予防・日常生活支援総合事業のみを利用する人が、要介護状態になることをできる限り予防し、地域において自立した日常生活を送ることができるよう、その心身の状況、置かれている環境等に応じて、対象者自らの選択に基づき、適切なサービスが包括的かつ効率的に提供されるよう必要な支援を行う。 | 給付管理の件数<br>総件数　2,020件<br>包括　63件<br>委託　1,957件<br>（内、新規利用者）68件 | 高齢者の自立支援に資するよう、利用者の生活目標を共有し、その達成のための具体策を実施した。今後も高齢者が要介護状態になることをできる限り防ぐことができるよう、心身機能だけではなく活動や参加といった社会性も重視した総合的な視点を持って支援していく。 |

| 業務 | 事業内容 | 実績 | 課題・評価 |
|---|---|---|---|
| 一般介護予防事業 | 高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民運営の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進する。さらに、地域においてリハビリテーション専門職等を活かした自立支援に資する取り組みを推進し、要介護状態になっても、生きがい・役割をもって生活できるような地域の実現を目指す。 | はつらつサロン　6回84人<br>骨折予防講座<br>防災講習<br>いきいき美容教室<br>俳画教室<br>認知症サポーター養成講座<br>ローズリース作成教室<br>元気アップ教室<br>前期：8回 延べ参加者数132人<br>後期：8回 延べ参加者数110人<br>介護予防あれこれ講座<br>3回（栄養、運動、口腔）53人<br>介護予防講座～初めての介護・予防について～<br>2回　延べ参加者数16人<br>タオル体操講座<br>4回　延べ参加者数103人<br>椅子ヨガ講座<br>5回　延べ参加者数94人<br>ウォーキングレッスン<br>5回　延べ参加者数46人<br>（参加費徴収）<br>ラジオ体操講座<br>2回　20人<br>ラジオ体操登録　4団体<br>「へぐりいきいき百歳体操」登録　15団体<br>「へぐりいきいき百歳体操」体験講座<br>2回　延べ参加者数20人<br>第9回「へぐりいきいき百歳体操」体験・交流会<br>（R5年度より実行委員と一緒に企画）　1回　86人<br>90歳以上紹介対象者　10人<br>「通いの場」応援講座<br>1回　27人<br>グループワーク・交流会 | 介護予防の知識の普及・啓発を図るため各講座を開催した。高齢者のニーズに合わせた内容を企画し、新規の参加者が集まるように講師の選定を行った。定員を超える申し込みや新規参加者も見られた。<br>住み慣れた地域でいつまでも元気に過ごせる地域づくりを推進し、住民運営の通いの場である「へぐりいきいき百歳体操」・「ラジオ体操」の拡大や継続支援として、イベントを開催し、参加者のモチベーションが維持できるよう、自主運営の充実に向けた取り組みの支援をした。新規団体の登録や新規参加者、世話役の高齢化が課題である。継続して広報やチラシ等で周知いく。<br>高齢者が要介護状態になることをできる限り防ぐことができるよう、今後も介護予防教室等の充実を図っていく。また、出前講座も活用してもらえるよう周知していく。 |

| 業務 | 事業内容 | 実績 | 課題・評価 |
| --- | --- | --- | --- |
| 一般介護予防事業 | | 「へぐりいきいき百歳体操」継続支援<br>西宮百歳体操（体力測定）<br>1回　10人<br>リハビリテーション専門職等派遣事業　7団体　122人<br>（運動：2、認知症：4、口腔：1）<br>介護予防出前講座<br>新菊寿会　15人<br>菊美台長寿会　24人<br>自主的な住民交流の場（俳画教室）の開催の支援<br>11回　延べ参加者数112人 | |
| 指定介護予防支援事業 | 介護保険における予防給付の対象となる要支援者が、可能な限りその居宅において自立した日常生活を継続するために、介護予防サービス等の適切な利用ができるようケアマネジメントを行う。 | 給付管理の件数<br>総件数　1,782件<br>包括　87件<br>委託　1,695件<br>（内、新規利用者）40件 | 要支援1・2の方に対し、心身の状況や生活環境等のアセスメントをもとに、本人や家族の希望を考慮したケアプランを作成し、出来る限り自立した生活を営めるように支援を行った。 |

令和８年度地域包括支援センター事業計画及び進捗状況　　令和８年６月30日現在

| | |
|---|---|
| 重点目標 | 各事業を行うことによって、地域包括ケアシステムの構築を推進し、高齢者等が住み慣れた地域でその人らしい生活を継続することができるよう、体制を整える。また、地域共生社会を見据え、幅広い年代がつながる地域づくりを目標に、さまざまな関係者との連携強化に努める。 |

| 事業名 | 業務 | 事業内容 | 計画 |
|---|---|---|---|
| 1. 包括的支援事業 | 総合相談支援事業 | 地域の高齢者等に関するさまざまな相談を受け止め、複雑かつ多様化する相談に対し、３職種（保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員）がチームとなって必要な方策の検討とそれに基づく速やかな初期対応を行い、適切な機関・制度・サービス等の社会資源につなげる。また、継続的なフォローや必要に応じて地域包括支援センターの各業務につなげるなど総合的な相談・支援を行う。 | できるだけ早い段階で相談を受理できるよう、本人、家族、近隣住民、地域のネットワーク等を通じた相談に対し、窓口・電話・訪問等で随時対応する。また地域包括支援センターに相談がつながるように周知していく。多様な相談に対し、高齢者の心身の状況や家庭環境等についての実態把握を行い課題やニーズの早期発見、早期対応に努める。<br>○総件数 延べ654件 実数458件 |
| | 権利擁護事業 | 住み慣れた地域で尊厳ある生活と人生を維持することができるよう、高齢者の虐待の防止および対応、セルフ・ネグレクトの防止および対応、消費者被害の防止および対応、判断能力を欠く常況にある人への支援を行う。 | 高齢者の権利や尊厳ある暮らしを守るため、相談案件に迅速に対応し、適切な関係機関やサービス等につなげる。また、消費者被害の未然防止や成年後見制度等、判断能力が低下する前からの備えの重要性について、専門機関等に学習会や講演を依頼し、地域住民や関係機関に対して広く周知・啓発を行っていく。<br>○権利擁護相談<br>延べ４件　実数２件<br>（新規１件、継続１件） |
| | 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業 | 高齢者等が住み慣れた地域でその人らしい自立した生活を継続できるよう、個々の高齢者等の状況や課題および変化に応じた包括的・継続的ケアマネジメントを実現するために、介護支援専門員への支援や地域における多職種連携・協働の体制づくりを行う。 | 介護支援専門員を対象に、町内ケアマネ連絡会（年３回程度）、生駒郡４町合同研修会（年４回程度）を実施し、情報提供や意見交換会及び研修を企画・開催し、制度の理解促進や専門性の向上を図る。また、介護支援専門員が民生児童委員や行政、医療・介護の多職種と連携が図れるよう定期的な取り組みを進める。<br>○6/17 町内ケアマネ連絡会<br>事例検討会・意見交換会<br>（精神疾患・医療拒否がある方との関わり方）　20名 |

| 事業名 | 業務 | 事業内容 | 計画 |
|---|---|---|---|
| 1．包括的支援事業 | 在宅医療・介護連携推進事業 | 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、地域における医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を整備するために、行政が中心となって地区医師会等と緊密に連携しながら、医療機関・介護事業所等、地域の関係機関の連携体制の構築を推進する。 | 生駒郡4町及び西和地域7町と医師会、病院、診療所、保健所、県、介護事業所等と連携協働し、在宅医療介護連携の課題の抽出と対応策を検討する。具体的には、多職種勉強会の開催、入退院連携マニュアルの活用と評価、在宅医療介護資源集の改定と発行。また、地域住民へ在宅医療の知識の普及啓発のため、講演会や在宅療養の検討に役立つ住民向けパンフレット「住み慣れた地域で暮らすためのガイドブック」の配布・評価を行い、さらに周知・推進する。<br>○6/18 第 20 回西和メディケアフォーラム地域検討会合同会議<br>53名 |
| | 認知症総合支援事業 | 認知症の人が尊厳と希望を持って認知症とともに生きる、また、認知症があってもなくても同じ社会でともに生きる「地域共生社会」を目指し、認知症の人や家族の視点を重視しながら、認知症への正しい理解を深める活動や医療と介護の連携強化、認知症の早期診断・早期対応等認知症の人およびその家族への効果的な支援体制を強化する。 | 認知症予防教室により、地域住民の認知症予防の充実を図る。参加希望者が多く、場所を全てくまがしホールに変更し、定員も増員している。<br>認知症カフェ（畑活の活動を含む）や介護家族交流会により、認知症の人と家族の意向やニーズを知り、チームオレンジの活動につなぎ、新たなチームの立ち上げを目指す。認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座、認知症講演会等で、「認知症への正しい理解」「地域で支え合う必要性」「地域で取り組む意義」等を普及・啓発する。また、認知症高齢者等を日頃から地域で見守るネットワーク体制を広く周知し、認知症の人ができる限り住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを進める。<br><br>○認知症予防晴れ晴れ教室<br>10回　延べ参加者数 433 人<br>○認知症カフェ　3回　53人<br>○認知症サポーター養成講座<br>2回　40人 |

| 事業名 | 業務 | 事業内容 | 計画 |
|---|---|---|---|
| 1．包括的支援事業 | 地域ケア会議推進事業 | 高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備とを同時に進めていく地域包括ケアシステムを推進するために、多職種が協働して高齢者の個別課題の解決を図るとともに、介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高める。また、個別ケースの課題分析等を積み重ねることにより、地域に共通した課題を明確化し、その課題を既存の地域資源につなげたり、必要な資源を開発し、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを継続できるよう支援する。 | 事業対象者・要支援者の自立支援に資するよう、理学療法士（作業療法士）・薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士・コミュニティソーシャルワーカーがアドバイザーとして参加する自立支援型地域ケア会議を毎月開催し、地域課題の抽出と解決に向けて検討する会議を行い、福祉課に報告提言する。また、サービス事業所や民生委員等から相談があった処遇困難事例については、必要に応じてケア会議を随時開催し、解決に向け適切な機関との連携を強化する。<br><br>○自立支援型地域ケア会議<br>3回　11事例<br>○処遇困難事例地域ケア会議<br>2回　2事例 |
| 2．介護予防・日常生活支援総合事業 | 介護予防ケアマネジメント<br>（第1号介護予防支援事業） | 要支援者等が要介護状態になることをできる限り防ぐため、自らの選択に基づいた適切なサービスを利用し、地域において自立した日常生活を送ることができるように支援する。 | 要支援者が要介護状態にならずにできるだけ自立した生活ができるよう、心身の状況、生活環境、その他の状況に応じて利用者と目標やその達成のための具体策を共有し、利用者が選択した内容に基づいて介護予防の取り組みを実施できるようにする。<br><br>○総件数　491件<br>包括　9件<br>委託　482件<br>（内、新規利用者　14件） |
| | 一般介護予防事業 | すべての高齢者が居宅において自立した日常生活を営むことができるように、生きがいづくりや介護予防・フレイル予防のための運動・栄養・口腔などの知識の普及啓発を行い、活力ある地域づくりを推進できるように支援する。 | 高齢者が要介護状態とならずに、住み慣れた地域で自立した日常生活を送れるよう、高齢者のニーズに合わせた内容を企画した介護予防講座などを開催する。また、高齢者の生きがいや健康づくり、社会参加、閉じこもり予防を目的に気軽に寄り合える場の提供として「はつらつサロン」も開催する。 |

| 事業名 | 業務 | 事業内容 | 計画 |
|---|---|---|---|
| 2．介護予防・日常生活支援総合事業 | 一般介護予防事業 | | さらに、地域住民が主体となり取り組む通いの場「へぐりいきいき百歳体操」や「ラジオ体操」の普及啓発・継続支援を行い、筋力維持・向上と社会参加・支え合いができる地域づくりを目指す。<br>地域課題に目を向けて、血圧測定や体重測定などができる環境や歩数計の貸出を実施。高齢者の保健事業と介護予防などの一体的な実施において、福祉課、健康保険課と情報を共有しながら実施する。<br><br>○はつらつサロン<br>（紫外線対策セミナー）1回19人<br>○元気アップ教室<br>5回　延べ参加者数96人<br>○椅子ヨガ講座<br>大雨警報のため1回中止<br>○ラジオ体操登録　1団体追加<br>○「へぐりいきいき百歳体操」継続支援（体力測定）1回　11人<br>○リハビリテーション専門職等派遣事業1団体（認知症）12人<br>○自主的な住民交流の場（俳画教室）の開催の支援<br>3回　延べ参加者数　34人 |
| 3．指定介護予防支援事業 | 指定介護予防支援 | 要支援者が、可能な限りその居宅において自立した日常生活を継続するために、予防給付の介護予防サービス等を適切に利用できるよう支援をする。要支援者等が要介護状態になることをできる限り防ぐため、自らの選択に基づく適切なサービスを利用し、地域において自立した日常生活を送ることができるように支援する。 | 要支援者が要介護状態にならずにできるだけ自立した生活ができるよう、心身の状況、生活環境、その他の状況に応じて利用者と目標やその達成のための具体策を共有し、利用者が選択した内容に基づいて介護予防の取り組みを実施できるようにする。<br><br>○総件数　504件<br>包括　21件<br>委託　483件<br>（内、新規利用者　16件） |

# 介護予防計画委託先事業所（追加）

（R8年6月30日現在）

| No. | 事業所名 | 代表者氏名 | 住　所 | 事業所番号 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ケアプランセンターくるみ | 小池　清 | 奈良県生駒郡斑鳩町小吉田2-11-11 | 2971600800 |
| 2 | スーパー・コートケアプランセンター | 山本晃嘉 | 大阪市西区西本町1-7-7　CE西本町ビル4階 | 2771801772 |